

市民ネットワークちばのプロジェクト中間報告

千葉市では、2014年2月1日、家庭ごみ手数料徴収制度が始まり、ごみ減量に対する意識がますます高まると考えられます。ごみプロジェクトで昨年6月に実施したアンケートでも、プラスチックごみや生ごみの分別収集とそれらのリサイクルに関心が高いことがわかりました。

そこで、プラごみに関しては柏市のプラごみのリサイクル工場、生ごみに関してはジャパンリサイクルのリサイクルセンター（ガス化溶融炉）とバイオガスセンターを見学しました。今年7月には、家庭から排出される生ごみを堆肥化して野菜作りに取り組む「ビオスの会」の農場を見学し、地域で循環させる仕組みづくりが私たちにもできるのではないかと感じました。

美浜区在住のプロジェクトメンバーを中心に市民の手作りによる公園整備「手づくり公園まさご」に参加し、その一画で落ち葉や一次処理した生ごみによる堆肥場を作ろうと準備を進めています。

今後は、公共施設や事業所から排出される生ごみにも目を向けていこうと考えています。自治体の公共政策の役割と責任は大きいのですが、市民が実際に関心を持って関わるのが推進力になります。興味のある方は、市民ネットワークちばにご連絡ください。



野呂農場見学 竹で作った堆肥場

ごみプロジェクト

市民ネットワークちばでは、毎年市への政策提案のため、テーマを決めてプロジェクトを立ち上げ、調査・研究をしています。4つのプロジェクトが活動中です。

防災・避難所プロジェクト

昨年7月と今年2月に、ワークショップを開催。災害時にどのような困難がおこるのかを、自治会長や障がい者のお母さんなど様々な立場の人たちと共有しました。他団体の防災・避難所関連講座にも参加し、今後の講座開催の参考としました。

また千葉市地域防災計画の見直しに伴い、プロジェクトとして要望書をまとめ、市職員と意見交換を行いました。その後募集されたパブリックコメントにも、意見を出しました。新しい地域防災計画に、男女共同参画の視点が入ったのはその成果だと思います。

10月15日に提出した「千葉市の予算編成に関する要望書」では、自主防災組織の結成率を上げることや、公共施設に避難に際する心得を常設しておくことなどを要望しました。



避難所ワークショップの様子

防災は、日頃の訓練と実践が大切です。経験を重ねて大災害時に備える仕組みを考えなければなりません。

プロジェクトでは今後、他市の先進事例を見に行き、具体的な形での提案を千葉市に行きたいと考えています。

街路樹プロジェクト

街路樹緑の質の向上を

ある日突然木が切られてしまった、剪定のしすぎでは？、農薬散布はどうなっているの、そんな疑問から市内の街路樹巡りがはじまりました。

観察していくと、根が盛り上がりアスファルトに亀裂がはいっている、植樹マスいっぱい幹が広がっている、木を支えるベルトが幹に食い込んでいる、根元にキノコが生えて木が弱っている、ムクドリ糞で路上が汚れているなど、人にとっても樹木にとってもさまざまな課題があることに気づきました。

街路樹は、ビルに囲まれた無機質な都市景観を潤したり、ヒートアイランドの緩和にも一役買っており、今後は量だけでなく質の確保も求められます。

そのためには、行政や事業者だけに任せるとはならず、住民である私たちも常に街路樹の見守りや植樹マスの手入れに、さらに市民が参加できるようにきちんとした仕組みをつくること。また、市民協働による街路樹マップづくりや、道路ごとに管理している事業者の名札を表示して住民との顔の見える関係をつくったり、管理について市民も参画し評価していく会議をもつことも必要です。

さらに、道路は今後自転車走るスペースの確保も求められます。街路樹にこだわるのではなく、住宅の生け垣（補助制度を作る）や公園の樹木も街路樹と一体に捉え、街の緑としてその充実力を入れていくなど新たな提案を考えていきます。



街路樹を使わずに回りの緑を上手に利用している例：花見川区瑞穂

市民ネットワークちばワンデーミーティング

10月25日、2015年春の統一地方選挙に向けて話し合いました。市民の声・弱者の声をしながらなく市政に提案できる市民ネットの活動は大切で継続させたいが、専業主婦が少なくなるなど担い手が減り活動を広げる新しい工夫が必要、選挙に取り組む区を絞り込む、1年前には候補者を決める、などの意見が出ました。今後の運営委員会等で詰めていきます。



市民事業プロジェクト

市民ネットワークちばから生まれた4つの市民事業が集まって、市民事業のおかれた立場や関係する制度の問題などについて話し合っています。お互いを知ろうということから、第1回目に美浜区のたすけあいサポートアイアイ、2回目は若葉区のゆうゆう（リサイクルショップ）、3回目はキッチン虹で集まりました。このほかに若葉区のとくくがあります。各グループが抱えている運営上の問題は、ある意味シンプルです。1、家賃の負担感2、メンバーの高齢化など。いつまで続けられるかと厳しい状況ですが、にぎやかで前向きなパワーあふれるプロジェクトです。

参加者募集中

10月1日議会傍聴記…みなさんも傍聴に行ってみませんか



議題が身近で興味深いと思いました。

議員さんはずっと質問原稿を読み続け、終わったら市担当職員が次々に立ち、まとめて答えていました。議会を効率よく進めていくための仕組みらしいですが、ウーインについていくのが難しい。

社会科見学のよう、とても勉強になりました。今度は委員会を傍聴したいです。